

2007年3月22日

ロシアに世界最大のフロートガラス製造窯を増設

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：門松正宏）は、ロシアにおいて、フロートガラス製造窯を増設することを決定しました。ロシアにおける需要の拡大に対応するため、約135百万ユーロ（約210億円）を投資し、世界最大の製造窯（生産能力：1000トン/日）を設置します。今回増設する製造窯は、当社グループのロシアにおける4基目の窯であり、本年第2四半期に着工し、2009年初めに量産開始の予定です。

ロシアにおいては、子会社であるグラバーベル社（本社：ベルギー）が1997年に現地のボーグラス社を買収し事業活動を行っており、2002年にはグラバーベル・クリン社を新設、2005年から量産を開始し、高品質フロートガラス市場を牽引しています。今回の投資は、高品質フロートガラスの需要が拡大するロシア市場でNo. 1の地位を確固たるものにするだけでなく、ミラーや高断熱Low-Eガラスなど高付加価値品へのニーズの拡大にも対応するものです。

また、既にフロートガラス製造窯1基を有する、グラバーベル・クリン社に増設することで、現状の生産体制やノウハウ・人材を活用するとともに、新窯建設のスピードアップやコストダウンを図ることができます。

当社では、今後も新興市場における積極的な事業展開を図るとともに、グローバル・ベンチマーキングによるより高い品質・サービスを提供していきます。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：旭硝子(株)広報・IR室長 川上 真一

(担当：高橋 TEL：03-3218-5259、E-mail：info-pr@agc.co.jp)

